

2017 12月 ほっとHOTエコプラザ

もっと 愛 ない? MOTT AI NAI? もったいなあい! ロングロングキャンペーン実施中!

今月の講座・イベント (要事前申し込み)

2日 (土)	包丁研ぎに挑戦 10:00~11:30 定員6人 参加費500円
3日 (日)	マイエンザで「ぼかし」作り 10:30~12:00 定員4人 参加費500円
5日 (火)	きもの着付けレッスン 10:00~12:00 定員4人 参加費500円
9日 (土) 16日 (土)	ノッティング織りに挑戦 前・後編 10:00~15:00 定員5人 参加費2,000円
12日 (火)	古着リメイクでスリッパ作り 10:00~15:00 定員5人 参加費1,000円
17日 (日)	おもちゃ病院 10:00~12:00 定員6組 診察料100円
17日 (日)	エコマーケット 毎月第3日曜日に開催 10:00~14:00 出店料500円 出店者募集中です
18日 (月)	残り毛糸で「指なし手袋」作り 10:00~15:00 定員6人 参加費800円
28日 (木)	ぼかし作成見学 生ごみを土に返すお手伝い 11時30分より 事前申し込み不要



エコプラザのリデュース・リユース

包丁研ぎ	使い慣れた包丁を最後までつかいませんか?	1本 500円
スーツケース レンタル	家の中でかさばるスーツケース。必要なときに「借りる」!	1回 500円 最長1ヵ月程度
イスの張り替え	座面を張り替えるだけで雰囲気も変わって気分一新!	1脚 1,000円から
まな板削り	スタッフがていねいに削り仕上げます。	1枚 500円
譲ります 求めます	譲ってもいいもの、求めているものがあれば情報をお寄せ下さい。ホームページとエコプラザ掲示板でお知らせします。	
えびすFM	毎月第2,4月曜日AM11時頃からエコプラザ情報を発信しています。	
リユース品の販売	自分にとっては不用でも他の誰かに活用してもらう。捨てずにリユース(再利用)。	
見学案内	私たちの身近なごみの現状を見にきませんか。工場見学や体験学習もできます。	

12月の講座、イベント等の申し込みは、11月16日(木)10時から電話で受け付けます。
エコマーケットの出店申し込み(出店料500円)は2ヵ月前から受け付けます。

★年末年始 12月29日(金)から1月3日(水)は休館致します。

TEL 0952-33-0520 ★開館時間:10時~17時 ★休館:水曜日

佐賀市『化学物質の使用に関するガイドライン』からの抜粋

(その2) ~ 1. 化学物質とは ~

基本的事項…本書では各業務で取り扱う原料や製品に含まれる物質や、それらを使うことにより意図せずとも作り出されてしまう物質を想定して記載。使い方や量を守らず、適切に処理をしないと人や動植物に環境リスク(※)を与えてしまうこともあるので、市においては法令を遵守し環境リスクを考慮し化学物質の拡散を防止する視点に立って計画を立て、地域における環境リスクを管理する管理者として役割を担い、リスク低減を推進する必要がある。

(※) 環境リスク=毒性の強さ(有害性の強さ)×体に取り込む量(曝露量)

(1) 化学物質の種類

燃料・洗剤・殺虫剤・農薬・塗料・接着剤・プラスチック・合成樹脂



(2) 化学物質の人や動植物への影響

- ①人体への影響・・・過剰摂取すると人体に悪影響を及ぼすものがあり、化学物質の持つ特徴により・発がん性・催奇形性・変異原性・生殖毒性・感作性など、さまざまな有害性を持っている。また、微量であってもシックハウス症候群、本態性多種化学物質過敏状態など、悪影響を及ぼす場合がある。
- ②生態系への影響・・・少なからず大気や水域、土壌などに拡散されていき、人の健康のみならず生態系に少なからず悪影響を及ぼす恐れのあるものがあるが、現在もまだ解明されていない部分も多いため環境省においても調査研究が進められている。生態系を守ることは、私たちが取り組むべき課題であり、将来世代に対する責務といえる。

(3) 関係する法令や指針[例]

- ・農薬の使用(農薬取締法、食品衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律など)
- ・建物内の薬剤使用(建築基準法、労働安全衛生規則、職域における屋内空気中のホルムアルデヒド濃度低減のためのガイドラインなど)
- ・化学物質管理、環境監査、その他(水質汚濁防止法、土壌汚染対策法、悪臭防止法、大気汚染防止法、有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律など)



(ネット環境のある方で詳しく知りたい方は佐賀市ホームページをご覧ください!)

<https://www.city.saga.lg.jp/main/1655.html>

プラスチックが海を汚している!

海洋投棄され海中を漂うレジ袋をウミガメがクラゲと間違えて食べて死んでしまった映像や写真を見たことはないでしょうか?また、私たちの目には見えませんが、海底では、洗んだレジ袋などの下の有機物が分解されずヘドロ化が進むといったことも起きているようです。それらはすべて私たち人間が引き起こしたことです。

さらに、海のプラスチックごみは、波、塩分、温度、紫外線などが要因で5mm以下に細分化され、マイクロプラスチックになり、世界中の海を漂っています。洗顔料に入っているスクラブ(マイクロビーズ)も顔をつるつるにしてくれますが、排水溝の向こうの行きつく先は海。そして恐ろしいのは、石油由来のプラスチックはPCBを吸着しやすいのだそうです。PCBが漂う海も怖いですが・・・。

(PCBはカネミ油症の原因となった有害物質。皮膚障害や肝機能障害を引き起こしました)

環境省の調査では、日本周辺の海域1平方kmあたり172万個のマイクロプラスチックが見つかっているそうです。有害物質を吸着したプラスチックを魚などが誤食したあと、その有害物質は体内に溶け出し、脂肪や肝臓にたまっていく。

脂ののったマグロは日本人の好物の一つ。食物連鎖の頂点にいるのは私たち人間です。くれぐれも、暮らしに役立つものが巡り巡って私たちを苦しめることにならないように。佐賀市エコプラザ 桑原



エコプラザ年末年始のお休みは 12月29日(金)~1月3日(水)